

# 柏木教会月報

## 8月号

東京都新宿区北新宿3-1-18 ☎03-3368-2156 www.church.ne.jp/kashiwagi/

### 天から来られる方

ヨハネによる福音書三章三一〜三六節

牧師 村松 惠美

「上から来られる方は、すべてのものの上におられる。」

(三一節)

イエス・キリストはすべてのものの上におられる方です。上から来られたイエス・キリスト、そして、それ以外の地からのもの。「上から」と「地から」、このことがここで強調されます。天と地、これはまったく違うもの、異なるものであり、はっきり区別されるのです。「天が地を高く超えているように、わたしの道は、あなたたちの道を、わたしの思いは、あなたたちの思いを、高く超えている（イザヤ書五五・八）」と主は言われます。

わたしたちは本来、地を高く超えた天におられたイエス・キリストのを知るなどできなかったのですが、天におられたイエスが、その天から地に来てくださったこと、神である方がまことの人として地に来てくださったことによつて、わたしたちはイエス・キリストに出会い、イエス・キリストを知ることができるのです。

神が御子を世に遣わされ、上におられた方が、天から降つて来てくださったのは、御子を信じる者が一人も滅びないで永遠の命を得るためでした(三・一六)。わたしたちは天から来られたイエス・キリストに聴く以外には、神を知ろうとしても知ることはできません。

かつて旧約の預言者たちは、「主はどのように言われる」と言つて、神から預かった言葉を語りました。しかし、イエスが語られる言葉は、それが神の言葉なのであり、イエス・キリストこそが神の言であるのです。

イエスを受け入れるということは、神がわたしたちに聖霊を送つてくださり、聖霊がわたしたちを、主を信じる者へと召してくださるといふことです。今わたしたちは、そのような神の大きな恵みの御手によつて捕らえられ、召し出されています。聖霊によつて心の眼が開かれたとき、わたしたちはイエスこそまことの神であり、まことの人であること、わたしたちのために天から来られた方であることを知らされるのです。

三章はじめのニコデモとの会話の中で、主イエスは、「人は新たに生まれなければ神の国を見ることはできない」と言われました。この「新たに」といふ言葉が、ここで言われている「上から」といふのと同じ言葉です。人は聖霊を与えられて、上から来られたイエス・キリストを主であると告白するものとされるとき、古い自分に死んで、新しく生きるものとされるのです。

「御子を信じる人は永遠の命を得ている」と言われます。永遠の命を持つだろうというような将来のことではなく、今、永遠の命を持つというのです。「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです(一七・三)」と言われます。イエス・キリストを知る、それはイエスを愛し、聴き従い、つながっていることです。イエスを知ることによつて、わたしたちは新たに生まれ、永遠の命に生きる者とされるのです。